

庭園間共通テーマによる取り組み

オリジナルバスツアーの実施

いばらきフラワーパークで見頃のバラを楽しみ、茨城県内で数多くの果樹園を有する石岡市八郷地区で旬の柿を味わう、庭園と果樹園を組み合わせたオリジナルバスツアーを実施。

180年を迎える借楽園を学芸員による特別解説も付けたツアーは、募集定員を超える申し込みがあった。ツアー参加者からは、「とても楽しかった」「次回も参加したい」といった声が多く、満足度の高いツアーとなった。



いばらきフラワーパーク見学



柿狩り

本ツーリズムをPRするブースを設置

構成庭園と連携をし、本ツーリズムをPRするブースを設置。構成庭園のパネル展示やアンケートに協力してくれた人には、オリジナル缶バッジを作れる企画としたところ、たくさんの家族連れで賑わい、本ツーリズムを知ってもらいきっかけとなった。



「2022いばらき都市緑化フェスティバルin借楽園」でのオリジナル缶バッジ製作の様子



「海・花 そとあそび 2022」(国営ひたち海浜公園)ブースの様子

エリア全体での広報活動

ツーリズムパンフレット作成

本ツーリズムを紹介するパンフレット作成。それぞれの庭園の季節の花々や旬の果物が楽しめる果樹園等をまとめ、一体となってPRした。また、モデルコースを紹介し、庭園と果樹園の周遊に繋がることを意識して作成した。



アンバサダーによる情報発信

新たな庭園の魅力を発掘し、発信するため、アンバサダーを委嘱。構成庭園等の現地調査をし、SNS (FacebookやInstagram) で魅力を発信し、本ツーリズムの知名度を向上させた。



写真の撮り方講座の開催

構成庭園の広報力を向上させるため、プロカメラマンを講師に呼び、写真の撮り方講座を開催した。参加者からは、「プロカメラマンから写真の撮り方学べる機会はないので参考になった」といった感想があり、その後、パンフレット作成やSNS発信に役立てていた。



オリジナルノベルティの製作

本ツーリズムを認知度向上のため、オリジナルノベルティを製作。構成庭園のイベント等で配布し、PRに繋がった。



来年度以降の取り組み

- ・ホームページ内容の充実や、魅力あるバスツアーの実施など、実際に来園してもらう仕組み作りをしていく。
- ・首都圏を中心とした、県外での本ツーリズム知名度向上のため、PR活動を行う。